



新野地区想慈院付近を飛び交うホタル



日本人の心の原風景
見る者全ての心を癒す

夜空を舞う 神秘の光

地域の人たちの努力によって、5月末から6月にかけて市内の各所で、羽化したホタルが飛び交う幻想的な姿が見られます。1年に1回の機会をお見のがしなく。

ホタルは、湿度が高めで無風の新月の夜によく飛ぶといわれています。

この幻想的な光は、一般的にプロポーズの合図といわれています。オスは光を発しながら自分の相手を探し飛び交います。メスは弱い光を発して草や木の葉の上でオスを待ちます。お互いを見つけたときに強い光を発して合図を送り合い、オスがメスのもとに飛んで行くのです。

ホタルはきれいで流れがゆるやかな水場を好みます。そこにはエサになるカワニナがすんでいなくてはいけません。ホタルの成虫の寿命は短く、

2週間ほどしか生きることができません。

短い命だからこそホタルの光は幻想的で人々の心を引きつけるのではないのでしょうか。

観賞するときの注意点

- ・ホタルを持ち帰らない
- ・ホタルに明かりを当てない
- ・ゴミは必ず持ち帰る

・周辺のお宅に迷惑をかけない
・子どもだけで見に行かない

※地元を中心とした大勢の人たちの努力によってホタルが舞う風景が守られていることを忘れないでください。マナーを守って楽しく観賞しましょう。